

# Dr.諸富の元気になる! 悩み相談

## 悩み相談④

推薦などで進路が決まった生徒たちの  
学習意欲の低下が悩みです

### こんなときこそ、 キャリア教育を行いましょ

生徒は、自分にとって意味のあることだからこそ意欲を維持できま  
す。そのため、学校に毎日通い授業を受けることを「上級校に合格す  
るため」と考えていた生徒たちは、合格したとたんに学習意欲を失いがちです。これはなかなか防ぎよ  
うがなく、多くの先生方が、長年悩んできた課題です。そこで、こんなときこそキャリア教育を行って  
みてはいかがでしょうか。

それまでの、進路を選択するためのキャリア教育ではなく、合格したからこそできる、その先にあ  
るものを考えていくキャリア教育によって、低下しがちな生徒の学習意欲を取り戻すのです。まづ  
は、自分が選択した進路によってどのようにキャリアを実現していくのか、10年後、20年後を、具  
体的に考えるエクササイズを行ってみましょう。特に、生徒の中には、本来目指していた第一志望ではな  
く、不本意な学校・学部・学科に決定した者も少なくないはず。そこで、自分が選択した進路先で学  
べること、身に付けられることは何かを改めて調べさせてみて、どんな将来を描くか探っていくのです。将来  
への具体的な展望や前向きな思いは、残りの高校生活を充実させていく活力につながっていくはず。ま  
た、決定している進路先の授業で必要になる基礎学力を調べさせ、自分とギャップがないかどうか考えさ  
せることも大切です。推薦で決まった生徒の中には、入学後、学問の前提となるべき基礎学力が不足して  
いて授業についていけず、落ちこぼれてしまうケースも増えています。しっかり授業についていける学力や  
基礎知識が自分に備わっているか調べさせ、自分に不足して  
いる力はないか、残りの高校生活でどんな勉強をすべき  
か考えさせることも大事でしょう。

〔回答者〕

諸富祥彦(もろとみよしひこ)先生：  
明治大学文学部教授、臨床心理士、  
教育学博士。全国の悩める教師のた  
めのセルフヘルピングやネットワーキ  
ングを支援する“教師を支える会”  
代表。http://morotomi.net/

